

# PONO<sup>2</sup>

ポノ・ポノ

vol.9

2007.3 発行 浦安市 経営企画部 企画政策課 人権・男女共同参画班  
〒279-8501 浦安市猫実1-1-1 TEL 047 (351) 1111  
編集：「ポノ・ポノ」vol.9 編集会議・市民編集員

## 特集 手をつなぐってむずかしい？

—あなたを悩ます別意識

「あの人は働いているから…」 「あの人は専業主婦だから…」と、自分の先入観や固定観念で、人をイメージしてしまうことがあります。「あの人は別」と思ってしまう意識を別意識といいます。別意識は、ほかの人を傷つけ、自分自身を縛ってしまいがちです。でも、もしかしたらあなたと同じように、ほかの人も悩み、乗り越えようとしているところなのかもしれません。人は違って当たり前ですが、共感できる部分もあるはず。他人を認めることは、自分を認めること。別意識にとらわれずに、相手の立場や状況を想像しながら向き合うことで、見えてくる自分もあるのではないのでしょうか。



# 生活スケジュールから あなたがみえる？

今回ポノ・ポノでは、子育て中でライフスタイルの違う3人にインタビューをし、平日の一日のスケジュールとその時々気持ちを語っていただきました。男性が自分のペースを保っているのに対し、ふたりの女性は、生活スケジュールに違いはあっても、自分のペースで時間が使えない時はイライラし、ひとりになれる時間にはリラックスできるようでした。子どもを中心に、目の前のスケジュールに追われ振り回されてしまうのは、子育て中の女性に共通するのかもしれませんが、あなたの生活スケジュールと比べてみませんか。

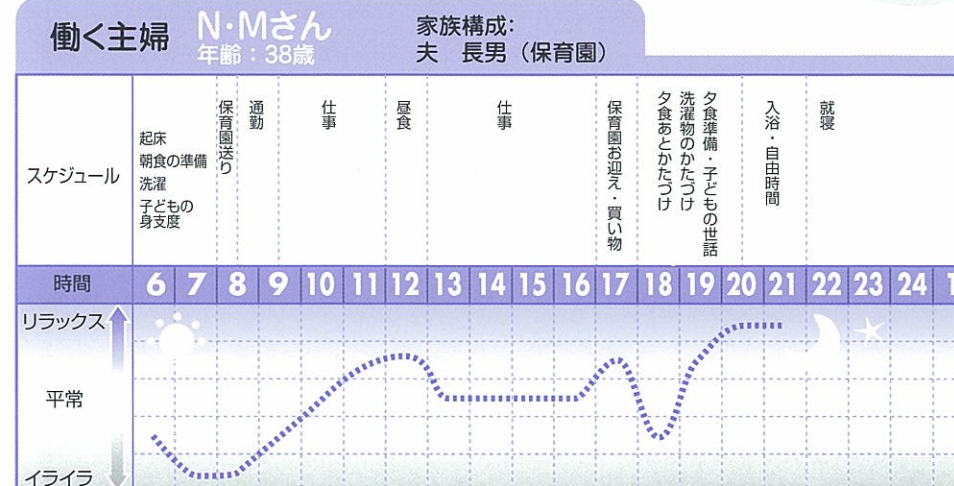


### ●イライラする時とリラックスする時はどういう状況の時ですか？

朝の家事が予定通り終わらないとイライラします。その後、幼稚園や学校の用事がけっこう入っている。あと長女の宿題や次女のピアノの練習をみている時や、三女の降園後の遊びの予定に振り回される時ですね。まだまだ、親が関わらなければ、スムーズにいきますからね。リラックスするのは、趣味の外出時。三女が幼稚園に入り、たまに午前中映画を見たり、買い物に行ったりと、自分の時間がやっともてるようになりました。夫は帰宅が遅く、平日は手を借りられませんが、休日は子どもの面倒をみたり、食事をつくってくれることもあり助かっています。

### ●今の生活スケジュールをどう思いますか？

「友の会」というサークルで、家事や育児、時間の使い方等について勉強したおかげか、自分の生活にあった基本スケジュールで過ごせるようになりました。夜に自分の時間がとれるようになり、だいぶイライラは減りましたね。ただ、子どもの習い事の送迎で意外と時間を取られます。日曜日ガールスカウトの活動があったりと、まだまだ3人の子どもの世話をしている状態が続きます。



### ●イライラする時とリラックスする時はどういう状況の時ですか？

朝、息子の出掛ける準備がスムーズにいかないとイライラします。それから、仕事に定時に終わらない時ですね。保育園へのお迎えの時間があったりとか。常に時間を気にしていますね。ほっと一息つける時は、仕事前にコーヒーを飲む時です。同僚と世間話をしているだけでも、ストレス解消になります。息子と一緒に帰宅した後から寝かしつけるまでは、あわただしいです。時々、子どもを預けて働いていることについていろいろと言われることもあります。それぞれの家庭が生き方や子育てパターンを選べばいいのではと思っています。

### ●今の生活スケジュールをどう思いますか？

息子の乳幼児期はとにかく手がかかったので、4歳になった最近になってようやく今の生活パターンに落ち着きました。よく病気にもかかるので、仕事との両立も大変ですが、夫と協力して、両親の手も借りて乗り切っています。やはり、自分の人生を大切にしたいと考えた時、私は仕事を抜きには考えられないので。ただ、あと1時間息子と遊べる時間がとれたらいいなと思います。それから、子育てが一段落したら、仕事のスキルアップのため、大学に通いたいです。



### ●イライラする時とリラックスする時はどういう状況の時ですか？

家族と一緒に過ごしている時はとてもリラックスしています。とくに休日は、サッカーや野球をしたり、子どもとたっぷり遊びます。仕事は「家族がしあわせに暮らしていくための手段」と思い、ストレスをためないようにと考えています。ただ、満員電車ではイライラしてしまいますね。それから、自分の趣味の時間も大切に考えています。充実した家庭生活＝リラックスしていると感じます。

### ●今の生活スケジュールをどう思いますか？

平日の帰宅時間が遅いので、息子とかかわる時間が休日だけになってしまいます。早く帰宅できる日を少しずつでもつくりたいですね。仕事の時間は1日の大半を占めてしまっていますが、これからも家族と自分の時間を一番大事に考えて過ごしたいと思っています。もちろん、仕事を完璧にこなすことも大切です。いつか息子が独立したら、故郷で老後のんびり過ごしてもよいかと考えています。



# すてきな人

中島純子さん

子育て中のお母さんをサポートするためのさまざまな企画を立ててきた、MY浦安（NPO法人i-net）。その創設者であり、代表を務める中島純子さんに話をうかがった。



# それ行け！ポノポノレンジャー

「どうしてダメなの？」「もしかしたら私だけ？」日々の暮らしで感じるモヤモヤした思い。「女だから、男だから」という古くからある考えや思い込みをしぼられず、自分らしく生きたいと考える私たちポノ・ポノレンジャーが日常のふとした疑問を男女共同参画の視点で考えてみました。

## わかりやすい男女共同参画のお話



子育てに悩むお母さんたちの目線に立ち、子育て支援団体MY浦安の活動を通して、メッセージを発信してきた中島純子さん。その活動のひとつに、子育てサロン「ふらっと」がある。

「お母さんが幸せでないと、子どもも幸せになれないですね。それなのに、気軽に相談できる友だちがなかなかできなくて、子どもと二人きりという狭い世界で子育てに悩んでいる人も多い。そんなお母さんたちがもっと楽になればいいなと思い、自宅を開放して子育てサロンを始めました」

MY浦安では、自分たちの思いを形にしたいというお母さんたちが中心となって、さまざまな事業を展開してきた。地域の子育て情報をHPや子育てNEWSなどで発信し、託児つきの講習会を月一回開く。昨年の9月には子育て応援メッセージというイベントを企画・開催し、今年に入ってからは、浦安子育てガイドブックを発行している。これらは、お母さんたちの声を丹念に拾い集め、形にしたものだ。

「子どもの頃、妹が産まれて二ヶ月で、母は自営業を始めました。そのときの母の姿が大変そうで…。子ども心に、もっとお母さんをサポートするサービスがあってもいいのではと思っていました。」それで、最初は働くお母さんを助ける事業を考えていたという中島さん。個人のHPで子育てに関する情報発信をしていたところ、家庭で子育てをしている母親たちが孤独な環境で子育てと格闘しているということを知り、寄せられたメールなどで知り、もしかしたら彼女たちもサポートが必要なのではと思い始め、今につながっているという。

「子どももお母さんもお互いに触れ合うことが大切ですね。そのために、将来的にはいろいろな世代の人が集まる地域交流サロンをつくりたいと思っています。そして、そのふれあいの中で、自分がどうしたいか、自分のために考えるきっかけが生まれたら、素敵ですね」と語る中島さん。子育てにつらいときがあっても、バックアップしてくれる場があると思うと、心強い。

### 編集に携わって

この冊子は2006年度情報誌編集講座の受講者から募った「ポノ・ポノ」vol.9編集会議・市民編集員が作りしました

長野俊子：4月に出産を控え、どこまでできるか不安でしたが、他のメンバーに支えられ、何とか無事終了。ありがとうございました。

伯野明絵：女性にも、男性にも、子どもにも、大人にも、平等なもの、それは1日に24時間でした。大事に、大事に。

林 久子：もの作り、ひと（友）作り、自分作りを同時進行で……。もの作りは、一段落。残りの2つは、続きそうです。

藤井園子：会議が終わり家に着くや否や、布団にもぐり、昼寝をしたものでした。頭がフル稼働し、心地よい疲労感に包まれて。

藤光英恵：手放して万歳できなくなったのは、課題と展望が見えたから。最高とはいかなくても、その時点での最善となるために。

ハワイ語の「PONO」（意味は、正しさ、幸福、繁栄など）に由来します。2つ並べて「ポノ・ポノ」と声に出してみたときの響きが親しみやすいでしょう！

### 「ポノ・ポノ」の意味

### 息子のほうが稼ぎが少なくて…。

息子夫婦は共働きです。収入は嫁のほうが多く、時間的に余裕のある息子が主に家事育児をするようです。今の時代ですから、女性が仕事を持つことは良いことと頭ではわかっていますが、息子の稼ぎが少ないとなると複雑な気持ちです。(50代女性)

R 「収入が多いほうが立場は強い」という思い込みがあるのね。お母さんから見れば自分の息子が不甲斐なく思えるのかも。

Y でも今はこういうカップルが増えているんじゃない？稼ぐのだけが偉いわけじゃないし、家事も立派な仕事よ。

B 家庭での役割もきちんと果たしている息子さんは立派。二人が満足しているなら、お母さんは気にする必要なし！

### お兄ちゃんはずるい。私だけお手伝い!?

お母さんは食事の片付けや洗濯ものをたたむお手伝いを私にばかり言いつけます。でもその間、お兄ちゃんはTVを見ているんだから…。ちょっと不公平だと思います！（小学生女児）

R そうそう、私も子どもの頃、同じこと思っていた。お兄ちゃんはずるいって。

Y 小さい頃からこうやって男女の役割分担が植え付けられていくのかもね。

B 男の人も家事ができないと将来困るんだら、お兄ちゃんも手伝ったほうがいいよね。

### 女性が会長…!?

ボランティア団体に積極的に活動して、みんなから慕われている女性がいます。次期会長に推薦したいのですが、前例がないと聞き入れてもらえません。女性もしり込みしています。適任だと思うのですが残念です。(60代男性)

R 男性がトップになるのが一般的だものね。PTAの役員だって皆、女性なのに会長だけが男性だったり。「女性は男性を立てなければならぬ、前には出てはいけない」という思いがあるのかも。

Y 女性がしり込みする気持ちなんとも分かんないわ。でも、能力に男女差はないのだから本当はおかしいよね。

B 実績や人柄に適した人ならきっと周りの理解が得られるはず。みんなでバックアップしていけばいいんじゃない。

### 保護者って夫？それとも私!?

子どもの予防接種に行くと、保護者欄の記入に夫と私、どちらの名前にするかいつも迷います。(30代女性)

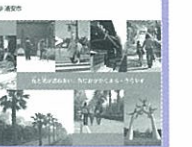
R そうなの？保護者って父親だと思込んでいたわ。

B あら、連れて行ったほうが書けばいいんじゃないの、そのほうが子どもの状態を良くわかっているしね。

Y 悩むのよね、私もつい、看護師さんに聞いてしまうもの。

### うらやす NOW

うらやす男女共同参画プラン



浦安市では、平成14年に「女と男が認めあい、共にかがやくまち、うらやす」をもとに策定した男女共同参画プランをこのたび改定しました。大きく変わったのは、「家庭・地域」と「労働」の分野をひとつにし、「ワーク・ライフ・バランスの推進」という柱を立てて、全部で5つの目標とした点です。今回は、この「ワーク・ライフ・バランス」について、企画政策課の方にお話をうかがいました。

### ◆ワーク・ライフ・バランスって何？

従来の、仕事中心の考え方ではなく、仕事と家庭の両方での充実感を得るために双方の適切な調和が大切だという考え方です。

浦安市では、男性が長時間労働、仕事中心の生活スタイルのため、子育てにあまり関われないという実情が多くあります。そこで、たとえば男性の育児参加や女性の就業継続を後押しするために、「ワーク・ライフ・バランス」の考え方を取り入れることになりました。

### ◆「ワーク・ライフ・バランス」の推進という目標は、子育て世代のためのものだろうか？

一見すると、子育て世代だけに限られた話のようにですが、典型的な核家族をイメージしてつくられた目標というわけではありません。人生を豊かにするために自分はどうありたいかということですから、たとえば、単身者、高齢者、定年を目前に控えた人など、あらゆる人が常に直面している問題なのです。

豊かな人生のために、どのように仕事と家庭のバランスをとるのが自分にとってベストなのか、見つめなおしてみたいかができたらいいかな。